

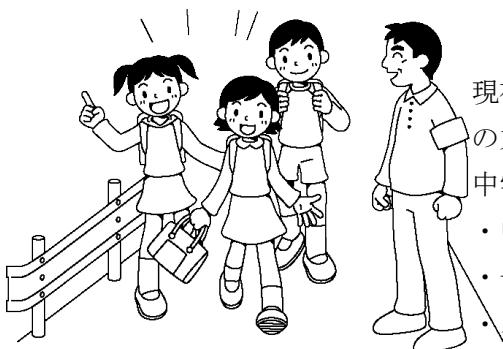
# 生活指導だより

平成26年4月11日  
練馬区立大泉北中学校

## 平成26年度スタート

4月7日(月)始業式、翌8日(火)入学式と平成26年度が始まりました。生徒の表情から、多くの生徒が、学年が上がったことをしっかり意識した良い顔をしていると感じます。保護者の皆様・地域の皆様には、今年度も本校の教育活動へのご理解と、変わらぬご協力をお願いいたします。

今年度は、1年生163名(5クラス)、2年生166名(5クラス)、3年生178名(5クラス)の全校生徒数507名(15クラス)と、ここ数年で最大の人数でスタートしました。その対応のため、昨年度多目的室として使用していた部屋を普通教室に改装したり、昇降口の配置換えをしました。限られたスペースを有効に活用するよう考え対応していますが、来校いただいた際に、お気付きの点などございましたらご意見をお願いいたします。



## 春の交通安全運動

現在、春の交通安全運動週間で、大きな交差点などでは、警察と地域の方が交通安全推進のため活動されています。交通安全において、中学生が一番に気を付けることは、自転車の運転についてです。

- ・中学生になると基本的に自転車では車道を通行します。
- ・一時不停止、飛び出しによる事故が多いです。
- ・スマホをしながら、音楽を聴きながらの運転は禁止です。

自他の安全のため、この他の守らなければならないルールもしっかり守っていきましょう。

## 楽しい学校生活のために

朝「行ってきます」と家を出て、夕方「ただいま」と帰ってくるまで、どの場面においても安全が保証され、毎日を安心して楽しく生活してもらいたいと願っています。そのためには、生徒自身が気を付けること、学校が環境を整えてあげること、保護者の皆様や地域の方々のご協力が必要となります。例えば、部活動後の最終下校時刻が昨年度は19時でしたが、それを18時30分としました。これは、学校の環境への働き掛けです。このことを受けて、生徒自身が、下校後、真っ直ぐに家に帰る(途中で友だちと長話をしてしまうことの無い様にする)とすることができれば、それは、生徒が気を付けることを実行できていることとなります。そして、保護者の皆様・地域の方々が、生徒の下校の様子にお気付きの点があれば、直接、生徒に声を掛けていただいたり、学校に知らせていただく。このように連携ができれば、より安全が確保されるものと考えます。

1年生も早速、部活動に参加しますが、4月23日までは、仮入部でも本入部しても、活動時間は17時までで下校となります。また、部活動に必要な用品や道具などを準備される場合は、部活動保護者会で顧問より説明させていただきますので、今しばらくお待ちください。

※通常の下校は18時30分ですが、大会等の前に限り30分延長することがあります。その際は、顧問より事前にお知らせします。

## ご家庭へのお願いと情報

現在、中学校では、スマートフォン、インターネットなどを使用するにあたって、情報モラルについて大きな課題があると捉えています。この便利な道具を有効に利用するためには、ご家庭と学校での連携・協力が必要です。そのために、この「生活指導だより」では、色々な情報をお知らせしていく予定です。

2013厚生労働省調査では、全国から無作為抽出した中高生14万人対象の調査で、「適応使用」している男子は79.5%、女子は71.5%、「不適応使用」している男子は14.1%、女子は18.6%、「病的使用」とされる男子は6.4%、女子は9.9%という結果でした。中高生の総数から推計すると「病的使用」が51万人、「不適応使用」が105万人となります。また、1日5時間以上インターネットにアクセスしている中学生が、男女とも1割近くいるという結果もあり、ネット依存だけでなく、健康被害、犯罪被害の広がりも心配されています。

兵庫県立大学竹内先生の研究によると、スマホの所持率は、男女とも小学校6年生までは30%台ですが、中学生になると60%近くになります。「スマホ不所持」「ガラケー所持」「スマホ所持」別に睡眠時間を比べると、「夜12時より遅く寝る」と答えた割合は、「不所持」約22%、「ガラケー所持」約38%、「スマホ所持」約49%となり、この結果を中学生に見せ感想を聞いてみると、

- ・LINEの書き込みを自分で終わらせたら悪いかなぁと罪悪感を感じ、続けちゃう。(中2女子)
- ・僕はゲーム。パズドラにはまってるけど、やりだしたら止まらない。(中1男子)
- ・よく寝落ちしてしまって、スマホを握りしめて寝ていることがある。朝起きて、すぐ続をやるって感じ。(中3男子) などと回答している。

次に、スマホ所持と部活動という視点で見ると、部活動に参加しないと答えた割合が「不所持」約25%、「ガラケー所持」約28%、「スマホ所持」約48%となり、この結果への意見として、

- ・僕も部活参加していない。部活って、先輩に敬語使ったり面倒くさいけど、スマホなら楽しいことばかり。嫌だったら終了して終わりだし、放課後までびくびくしたくない。(中1男子)
- ・部活へ行く理由は半分友だちに会うためだったけど、今は、LINEですずっと一緒だからわざわざ部活に行かなくてもいい。(中3女子)
- ・部活とかじゃなくても、スマホしてたら友だちも楽しいこともいっぱいあるし。部活なんて時間の無駄って言っている子も多い。(中2女子) などと回答している。

次に、スマホ所持と勉強という視点で見ると、勉強に自信が無いと答えた割合が、「不所持」約37%、「ガラケー所持」約38%、「スマホ所持」約47%となり、この結果の意見として、

- ・LINEで、友だちのノートとか写メで撮って送ってもらったりして便利だし、分からない問題があったら、クラスのLINEで「この問題教えて」と書いたら、親切な人が教えてくれる。(中2女子)
- ・テスト前とかLINEで「今日はカンテツ(完全徹夜)でがんばろう」とか言い合ってるけど、結局雑談ばかりになっちゃって、テストの点数は最悪。(中3女子) などと回答している。

※ガラケー：携帯電話 LINE：無料通話アプリ

今回は、情報モラルの中でも特にスマホの無料通話アプリ(LINE)についてお知らせしました。記事中の生徒の言葉は、本校の生徒にも当てはまると思います。各ご家庭で、スマホやインターネットの使用状況を確認してください。スマホやインターネットは便利なものですが、ユーザー(使う人)の立場によってメリットとデメリットがあります。中学生が使用する際のデメリットを、周りの大人が協力して減らすことができればと思います。裏面には、文部科学省からのリーフレットを掲載します。